

トラック用アクト支柱

トラック荷台上からの墜落防止用親網支柱



- ・荷台上での積降作業の安全確保に。
※写真は支柱2本仕様
- ・親網の取付高さは3段階に設定。
荷台高さの違いにも対応。
- ・ベースにタイヤを乗せて固定。
あおりの形状に左右されず、
車体に負荷を掛けません。

専用アウトリガー (オプション品)

2本仕様の場合は
必ず設置して下さい。
※前輪側に後輪方向に
向けて設置



メインパイプは分割可能

連結時



メインパイプ連結時: 3,040mm
(上部パイプ+下部パイプ)



分割時

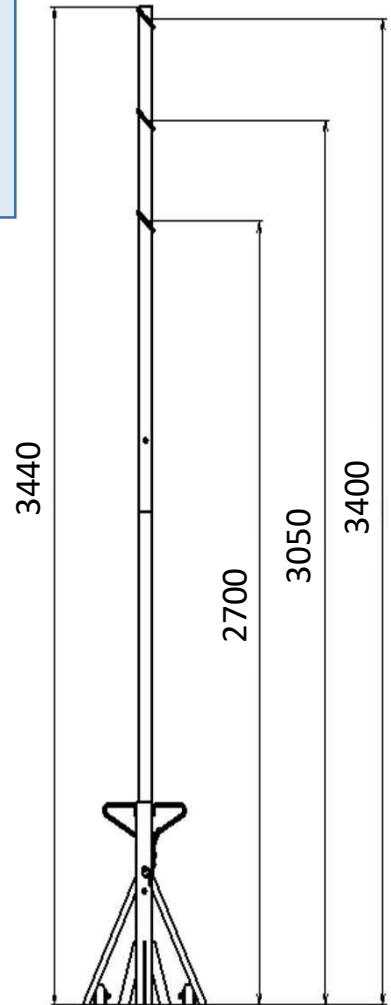


上部パイプ: 1,740mm
下部パイプ: 1,600mm

混載便発送OK!

移動に便利！ハンドル&キャスター付

ベース運搬用ハンドル ウレタンキャスター

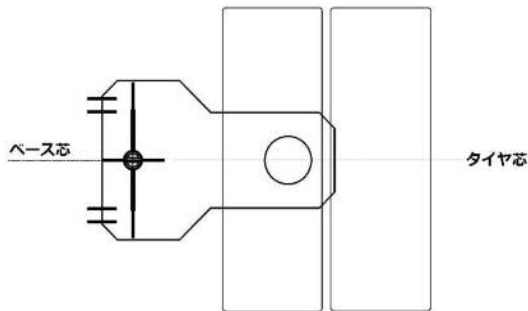


品名	寸法(mm)	パイプ径(φ)	重量(kg)	備考	
メインパイプ	上部	1,740	48.6	5.2	親網フック取付高さ 最上部 3,400mm 中段部 3,050mm 最下部 2,700mm
	下部	1,600	48.6	7.9	
ベース	500×817.5	—	26.3		
アウトリガー	—	42.7	6.3	オプション	

トラック用アクト支柱 使用上の注意

- ①使用の際は親綱を緊張させ、車体後方へ必ず控えを取って下さい。
- ②前輪、後輪の2本使いでの作業の場合、必ず前輪設置支柱にアウトリガー(オプション品)を使用して下さい。
- ③親綱1スパンに対し1人での使用となります。
- ④設置時はベース材に対しタイヤ芯を合わせ、タイヤ面が十分に重なるよう設置して下さい。
- ⑤支柱設置時は継目のロック機構、支柱固定ピンの差込を確認して下さい。
支柱固定ピンはベース長手方向より差し込んで下さい。
- ⑥設置前に各部材の変形、亀裂等の点検確認を行って下さい。
- ⑦本来の用途以外の目的でトラック用アクト支柱を使用しないで下さい。
- ⑧親綱、緊張器は一般社団法人仮設工業会の認定品を使用して下さい。

ベース設置時の注意



- ・ベースをタイヤに踏ませて下さい
- ・必ずベース芯とタイヤ芯が合わさるように設置して下さい

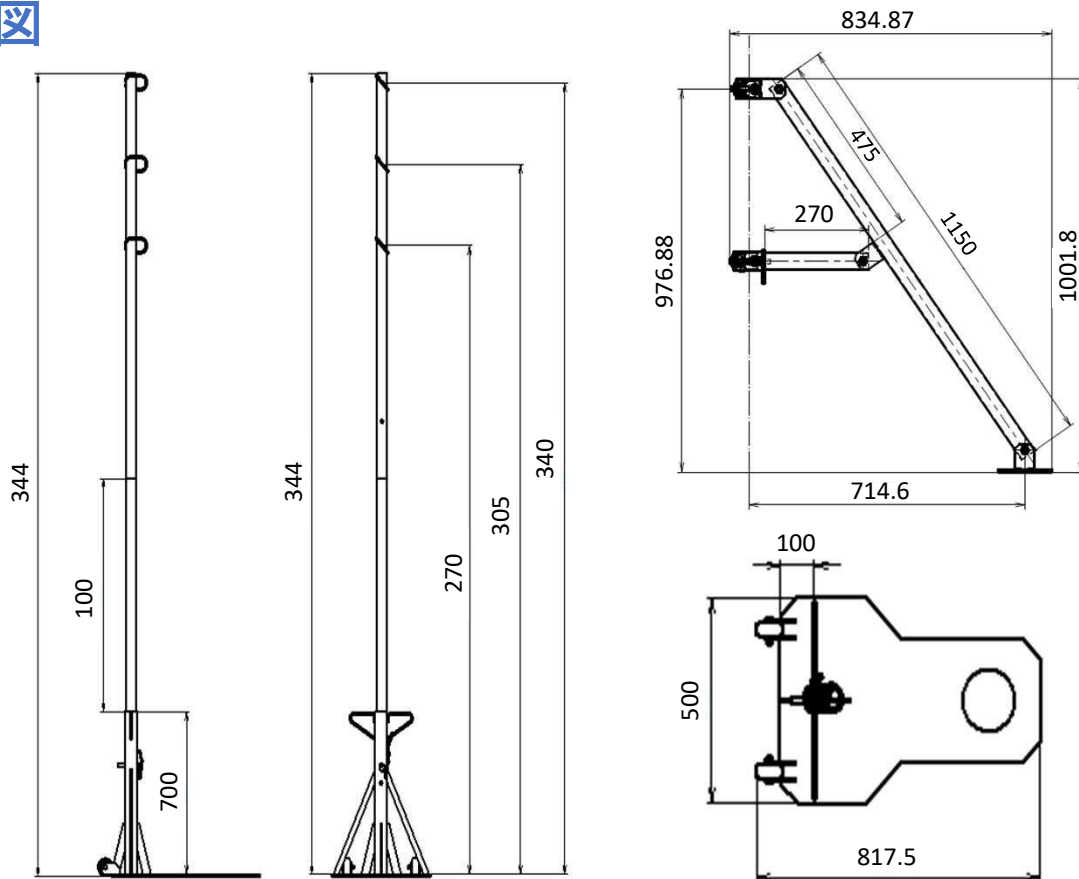


前輪設置状況



後輪設置状況

寸法図



お気軽にお問い合わせ下さい。
最適なお提案をさせていただきます。

 **アクトワンヤマイチ**